



Yomeishu 次のすこやかさへ、一步一步



2026 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 養命酒製造株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中 英雄
コード番号 2540 東証プライム
問合せ先 取締役上席執行役員 経営企画部長 井川 明
T E L 03-3462-8138

特別損失の計上に伴う通期業績予想の修正、期末配当予想の修正（無配）、株主優待制度の廃止及び中期経営計画の取り下げに関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期において、特別損失を計上する見通しとなりました。これに伴い、2025 年 10 月 10 日に公表いたしました 2026 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、あわせてお知らせいたします。

また、昨日開催の取締役会において、本日別途公表しました「株式会社レノによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同及び応募中立の意見表明のお知らせ」（以下「当社意見表明プレスリリース」といいます。）に記載の株式会社レノ（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）が成立することを条件に、2026 年 3 月期の配当予想を修正し、2026 年 3 月期の期末配当を行わないこと及び 2027 年 3 月期より株主優待制度を廃止することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、昨日開催の取締役会において、2027 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画を取り下げることと決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、昨日開催の取締役会において、本公開買付けに関して賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けに応募するか否かについては当社の株主の皆様のご判断に委ねる旨の決議をいたしました。上記の取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続きにより当社の株主を株式会社ツムラのみにすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。詳細につきましては、本日付で公表いたしました当社意見表明プレスリリースをご参照ください。これに伴い、2026 年 3 月期において発生するアドバイザー費用、弁護士費用その他の諸費用として 380 百万円程度を公開買付関連費用として特別損失に計上する見込みとなりました。

また、くらすわ関連事業は業績の低迷により、将来の回収可能性を検討した結果、固定資産について減損損失 2,930 百万円を特別損失として計上予定です。

2. 業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	9,630	140	760	840	60.61
今回修正予想（B）	9,630	140	760	△1,640	△118.33
増減額（B－A）	－	－	－	△2,480	
増減率（％）	－	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	10,017	128	626	679	49.08

(2) 修正の理由

本公開買付けに関連して、2026年3月期において発生するアドバイザー費用、弁護士費用その他の諸費用を380百万円程度、公開買付関連費用として特別損失に計上することとなりました。また、くらすわ関連事業において、固定資産の減損損失として2,930百万円を特別損失に計上することとなりました。この結果、当期純利益が当初計画を下回る見通しとなったため、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 2026年3月期の配当予想の修正（無配）について

(1) 2026年3月期配当予想の修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 （2026年1月29日公表）	－	45円00銭	45円00銭
今回修正予想	－	－	－
当期実績	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	－	45円00銭	45円00銭

(2) 修正の理由

当社は、「1. 特別損失の計上について」に記載のとおり、昨日開催の取締役会において、本公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けに応募するか否かについては当社の株主の皆様のご判断に委ねる旨を決議いたしました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、業績の拡大に応じた利益配分を基本としながら安定した配当を継続することを方針としてまいりましたが、本公開買付けにおける当社1株当たりの買付け等の価格は2026年3月31日を基準日とする期末の剰余金の配当が行われないことを前提として、総合的に判断・決定されていることから、昨日開催の取締役会において、2026年3月期の配当予想を修正し、2026年3月期の期末配当を行わないことを決議いたしました。

4. 株主優待制度の廃止について

当社は、昨日開催の取締役会において、本公開買付けが成立することを条件に、2027年3月期より株主優待制度を廃止することを決議いたしました。

これにより、本公開買付けが成立した場合、2025年9月30日を基準日とする株主優待をもちまして、当社の株主優待制度を廃止いたします。

5. 中期経営計画の取り下げについて

当社は、2022年3月期の決算発表時において、中期経営計画（2022年4月～2027年3月）（以下「本中期経営計画」という。）を公表し、2023年に会社創立100周年を迎えるにあたり基本戦略を「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」と決めました。「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化（深化）と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築（探索）を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでまいりました。

しかしながら、ここまでのところ、物価上昇による消費行動への影響等の要因による国内「養命酒」の販売不振、通信販売の競争激化、店舗展開にあたっての人材確保難等によるくらすわ関連事業拡大の遅れ、最終年度を見据えたM&Aの実現可能性の低下等、本中期経営計画策定時に想定した前提条件が大きく変化しております。

このような状況を踏まえ、2025年5月13日の2025年3月期の決算発表時に当初策定していた本中期経営計画の最終年度（2027年3月期）の目標である売上高200億円以上については取り下げを行い、その他の目標とする経営指標である営業利益率10%、ROE（自己資本利益率）4%については変更しないこととしておりました。

また、当社意見表明プレスリリースに記載のとおり、株式会社レノ及び湯沢株式会社とともに当社株式の非公開化を進め、株式会社ツムラの子会社となることが、上記事業環境の変化に伴う経営課題の解決をより早期に実現でき、当社の企業価値の向上に資するとの結論に至りました。詳細については、当社意見表明プレスリリースをご参照ください。

このような背景により、当社の事業戦略の見直しが必要であると判断し、本中期経営計画を取り下げると共に、維持してきた最終年度（2027年3月期）の目標とする経営指標である営業利益率10%、ROE（自己資本利益率）4%についても、昨日開催の取締役会において、これらの計画数値を取り下げることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

（注）上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。

以 上